

# 石川のペグマタイト鉱物が 「県の石」に選ばれました

## 「県の石」とは？

（一社）日本地質学会は、各都道府県に産出する岩石・鉱物・化石について、代表的なものの一つずつ、「県の石」として認定しました。福島県では、鉱物に石川のペグマタイト鉱物、岩石に阿武隈の片麻岩、化石にフタバズズキリュウがそれぞれ選ばれました。他県では、岩石にヒスイ輝石岩（新潟県）や鳥取砂丘堆積物（鳥取県）、鉱物にトパズ（滋賀県）や黒鉱（秋田県）、化石にナウマンゾウ（長野県）やアンモナイト（北海道）などが選出されています。



↑「石川のペグマタイト鉱物」を解説した、歴史民俗資料館1階の展示コーナー。



↑ペグマタイト（石川町塩ノ平産）  
大きな（明るい灰色部分）と長石（やや白い部分）から構成されている。標本中央のボールペンは長さ約14cm。（歴史民俗資料館所蔵）



↑煙水晶の大きな結晶  
（石川町運動公園造成地産）  
大きな（明るい灰色部分）と長石（やや白い部分）から構成されている。煙水晶の左下に置いてあるのは100円硬貨。（歴史民俗資料館所蔵）

## ペグマタイトとは？

ペグマタイトは、石英や長石の大きな結晶から構成される岩石で、レアアース（希土類元素）を濃集しやすく、珍しい鉱物が見つかることもあります。

このペグマタイトを構成する鉱物のことを「ペグマタイト鉱物」と呼びます。石川地方ではこれまでに、約150種類の鉱物が確認されてきましたが、その多くはペグマタイト鉱物です。石川地方で産出するペグマタイト鉱物は、種類が豊富であることに加え、結晶が大きいのが特徴で、全国的にも珍しく、海外の博物館にも展示されており、福島県を、さらにはわが国を代表する鉱物としてふさわしいものであると言えます。



←石川石  
（石川町“石川山”産）  
石川地方で発見された、希土類元素を含む鉱物です。（歴史民俗資料館所蔵）